

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 109 別冊

日本教育情報学会第20回年会のご案内（最終報）

日本教育情報学会第20回年会の開催にあたって

日本教育情報学会が、昭和60年に第1回年会を開催してから今回で第20回を数えます。学会の設立と同時に年会を開催していますので、学会の成人式（満20歳）は来年の8月になります。このような記念すべき年会にあたって、木田会長の基調講演、堀口先生の基調提案、さらに多くの方々に発表していただけることになりました。感謝申し上げます。

高度情報通信ネットワーク社会が進展していく中で、子どもたちがコンピュータやインターネットを活用し、情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を育成することは非常に重要だと言われています。

文部科学省では「e-Japan 重点計画」等に基づき、「2005年度までに、すべての小中高等学校等が各学級の授業においてコンピュータを活用できる環境を整備する」ことを目標に、各種の施策を推進しています。しかしながら、ハードウェアの導入整備がなされても、学校現場では「確かな学力」の育成に関連して、いくつもの解決すべき問題を抱えております。一方、長崎佐世保事件のような、児童生徒がICTの利用をきっかけに事件の加害者・被害者になることも看過できない状況になっています。情報倫理教育の必要性とともに、ICTと人間性、ICTと感性などの研究も必要となっています。

このような状況において、教育情報学や教育工学の研究者、実践者ならびに関係者が一堂に会して、教育の基本を問う哲学、教育内容、さらに教育方法について意見を交わし、英知を傾けてこれらの問題に取り組むことは、極めて意義深いものと考えられます。

今年度の大会においては、特に「教育情報、20年の歩み」という大会スローガンを掲げ、「教育情報の20年の歩み」をテーマに基調講演と鼎談と、「21世紀のリテラシー」と題したパネル討論会を設定しました。また、6つの課題研究と8つの一般研究発表セッション、その中でも東京都心身障害教育学校情報教育研究協議会との共催による一般研究「特別支援教育」のセッションを設定しました。さらに、自主シンポジウムとして（財）コンピュータ教育開発センター後援の「IT活用教材の標準化と教科書発行社の役割」をテーマに企業と学校現場との協同による議論を深めたいと考えております。

多くの教育委員会から後援をいただき、それぞれの地域の先生方には年会に参加しやすいように配慮いたしました。一人でも多くの先生方にご参加いただき、教育現場での実践的な研究、新たな問題や課題について議論していただければ望外の喜びとするものです。

第20回年会実行委員長 井口磯夫（十文字学園女子大学教授）

主催 日本教育情報学会

共催 東京都心身障害教育学校情報教育研究協議会

後援 神奈川県教育委員会・埼玉県教育委員会・東京都教育委員会
横浜市教育委員会・川崎市教育委員会・さいたま市教育委員会
財団法人 コンピュータ教育開発センター

期日 2004年8月18日(水)・19日(木)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター (センター棟)

所在地 〒151-0062 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 (03-3467-7201)

事務局 十文字学園女子大学社会情報学部 井口研究室内

日本教育情報学会第20回年会実行委員会

スケジュール

第1日 8月18日(水)

会場	10:00~12:00	12:00 13:00	13:00~ 13:40	13:45~ 15:15	15:30~ 17:00	17:30~ 19:30
A会場 (310室)	一般研究 「教材コンテンツ」	昼食 (理事会・評議員会)	総会・ 学会賞 表彰式	記念講演	パネル討論	懇親会 カルチャー棟 2階 とき
B会場 (304室)	一般研究 「教育情報の分析・ 評価」					
C会場 (403室)	一般研究 「電子コミュニケーション」					
D会場 (405室)	一般研究 「教育システム」					

第2日 8月19日(木)

会場	10:00~12:00	12:00 13:00	13:00~14:30	14:45~16:15
A会場 (310室)	課題研究4 「教育情報の流通」	昼食	一般研究 「教育コンテンツ」	一般研究 「プレゼンテー ション」
B会場 (304室)	課題研究1・2 「学習環境の開発」 「e-Learning」		一般研究 「情報教育一般」	一般研究 「情報教育一般」
C会場 (403室)	課題研究3 「教師教育と 生涯教育」		一般研究 「特別支援教育」	一般研究 「特別支援教育」
D会場 (405室)	課題研究6 「教育と著作権」		課題研究 「教科「情報」のある べき姿」	自主シンポジウム

昼食について 国立オリンピック記念青少年総合センター内の施設が利用できます。

〔受付〕センター棟 5階 503室 9:30より

- ・必ず受付手続きを済まされてから、各教室にご入室下さい。(参加費等については後述)
- ・受付は「学会員」「一般」「東京都心身障害教育学校情報教育研究協議会」「(財)コンピュータ教育開発センター」「神奈川県教育委員会」「埼玉県教育委員会」「東京都教育委員会」「横浜市教育委員会」「川崎市教育委員会」「さいたま市教育委員会」「招待者」に別れております。お間違えのないようご注意ください。

コーディネータおよび座長の方へ

- ・発表開始時刻の10分前までにご来場いただき、受付にて名札をお受け取りの上ご入室下さい。
- ・セッションの開始・終了の合図はございません。日程(スケジュール)に従い、各会場で適宜、進行してください。
- ・当日、ご不明な点などございましたら、年会スタッフまたは大会事務局にご連絡下さい。

発表者の方へ

- ・発表時間は下記の通りです。時間厳守をお願いいたします。
 - 〔一般研究発表〕 15分 (準備後始末1分, 発表12分 質疑2分)
 - 〔課題研究発表〕 20分 (準備後始末1分, 発表15分 質疑4分)
- ・進行はコーディネータ・座長に一任しております。スムーズな進行にご協力をお願いいたします。
- ・すべての会場で持込パソコン接続機能(プロジェクタ), 書画カメラ, VHS・8mmビデオデッキ, CD, DVD, 等を使用することが出来ます。
なお、機器の接続・操作は発表者の責任でご対応下さい。パソコン接続は事前に必ず各自でチェックしてください。
- ・発表教室に来られましたら、座長にご連絡下さい。
- ・万一、発表者の変更もしくはキャンセルになった場合は、出来るだけ早く事務局にご連絡ください。(当日の場合は座長または事務局)

参加申込について

- ・研究発表の有無にかかわらず、年会に参加される方は年会参加申込書(郵便振替用紙)で、参加申込をしてください。

(発表申込みをされている方も、必ず参加申込み手続きをおとりください)

- ・指定の郵便振替用紙が申込書を兼ねます。必要項目を記入し、郵便局の窓口またはATM, APMで手続きください。手数料は1万円まで70円, 10万円まで120円になります。(ATM・APMご利用は10円割引) 指定の郵便振替用紙を紛失した場合、または追加用紙が必要な場合は、郵便局備付けの用紙をご利用ください。

○事前参加申込締切(郵便局窓口期限) 2004年8月10日(火)

期日を過ぎた場合は当日会場受付でお支払いください。その場合参加費は当日扱いとなります。

郵便振替口座番号 00130-6-315397 口座名 日本教育情報学会第20回年会
(学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください)

参加費用 ・会員の予約の場合 ・会員の当日の参加または非会員

参加費 3,000円 参加費 4,000円

論文集 3,000円 論文集 3,000円 論文集は年会当日受付

懇親会費 5,000円 懇親会費 4,000円 にてお渡しいたします

論文集の郵送申込について(年会に参加されない方のみ)

年会に参加されない方で、論文集を購入希望の方は参加申込書の該当欄にご記入の上、申込みをしてください。年会終了後論文集を送付いたします。

1冊 3,500円(郵送費, 事務諸経費を含む)

- 「東京都心身障害教育学校情報教育研究協議会」「(財)コンピュータ教育開発センター」「神奈川県教育委員会」「埼玉県教育委員会」「東京都教育委員会」「横浜市教育委員会」「川崎市教育委員会」「さいたま市教育委員会」関係者の方、該当教育委員会の教員の方
日本教育情報学会会員で該当する方は除きます。
参加費は無料とします。(論文集代は実費申し受けます)
当日、受付(センター棟5階503室)にお越しください。

プログラム

(1) 記念講演 18日(水) 13:45~15:15 A会場

基調講演 「教育情報の20年の歩み」 会長 木田 宏

鼎談 会長 木田 宏, 理事 有園格(星槎大学), 理事 後藤忠彦(岐阜女子大学)

【趣旨】本学会が設立されて19年(来年满20年)が経過しました。今大会のスローガンに『教育情報, 20年の歩み』を掲げました。戦後の文部行政に深く関わられた木田会長に戦後の教育史を踏まえて、本学会が求めてきた「教育情報の枠組み」について熱く語っていただきます。それを受け、「情報の文化」を築き上げようとしてこられた深谷哲先生の遺志を汲んで、有園先生と後藤先生に加わっていただき鼎談をしていただきます。三名の先生方から思いがけない教育史の側面や裏面からの四方山話を伺えること間違いなしです。どうぞ奮ってご参加ください。

(2) パネル討論 18日(水) 15:30~17:00 A会場

テーマ 「21世紀のリテラシー」

【趣旨】アメリカは2000年12月にenGaugeを発足させて21世紀の教育の方向性を定めようとした。そこに盛り込まれたのが、21世紀のスキルとデジタル世代のリテラシーである。最近のアメリカ流の決め方で、非常に多くの人がかかわってこの考え方が創り上げられている。さらに2020Visionsを発表して、テクノロジーに支えられる教育環境の未来像を描き、そこに向けて政策を決めていこうとしている。その概要を基調提案では紹介する。

一方、日本でも「確かな学力」を定義して、従来の知識の量や正確性を測ってとらえる学力ではなく、学ぶ意欲や思考力、判断力、・・・、情報活用能力まで、応用して課題解決したり表現に発揮できる「生きる力」の意味するトータルな学力としてとらえるようになった。しかし、それをどのようにとらえて具体的な授業の中でどのように育成したらよいかは模索状態である。このパネル討論では、それを工夫している現場からの発表と、その研修や指導にあたる立場にある教育委員会から「確かな学力」の具体化について紹介する予定である。さらに、現場での理論や考え方を指導したり共同研究したりという経験豊かな研究者が最新の情報と考え方でリテラシーやスキルを切っていく予定である。

基調提案: アメリカの動き(2020Visionsより) 堀口秀嗣(常磐大学)

コーディネータ: 本郷 健(川村学園女子大学)

パネリスト: 研究者の立場から 堀田龍也(静岡大学)

中等教育の立場から 山下成明(さいたま市教育委員会)

初等教育の立場から 日下部和彦(東京都江戸川区立松江小学校)

(3) 自主シンポジウム(e-教科書研究会) 19日(木) 14:45~16:15 D会場

2005年からの教科指導を念頭に置いて、IT活用教材の標準化と教科書発行社の役割を議論していきます。2005年からの教材のあり方とそれを支えるインフォメーションテクノロジーについて、教科書各社が共有できるものは何か、どこまで標準化するべきか、あるいは標準化すべきではないのかなど、今、差し迫った状況のなかでの議論を行っていきます。

(後援 財団法人 コンピュータ教育開発センター)

算数・数学教材の標準記述言語（GCL）の仕様について 株式会社 ゼータ
 標準記述言語による e - 教科書のサンプルについて 原久太郎
 （NPO 法人地域学習センター ゆーらっぷ）
 標準記述言語にもとづいた関数作図ツールによる教材案 上原永護（小野上小学校教諭）
 現場の欲しがるデジタルコンテンツとは 石出勉（台東区立桜橋中学校教諭）

（４）研究発表

（一般研究） 教材コンテンツ 18日（水） 10：00～12：00 A会場
 座長 横山隆光（岐阜県教育委員会） 坂井岳志（世田谷区立八幡小学校）

-
- 1 A 1 小中高の関連を図った算数・数学の学習支援「楽しく学ぶ算数・数学」プロジェクト
 横山隆光（岐阜県教育委員会），中馬悟朗（福井大学教育地域科学部），
 服部晃（岐阜女子大学） 小山徹（岐阜県総合教育センター），
 - 1 A 2 中学校数学教育における Web 教材の開発と実践
 安藤忠展（岐阜大学教育学部附属中学校），寺田圭子（岐阜大学教育学部附属中学校）
 - 1 A 3 習熟学習プリント作成ソフトの開発
 荒川信行（品川区立三木小学校），丸子寛美（品川区立三木小学校）
 - 1 A 4 児童が創るデジタル作品の可能性とその環境
 坂井岳志（世田谷区立八幡小学校）
 - 1 A 5 Web 上で利用できる教材ソフトについて（flash を利用した教材作成）
 鳥羽 純（世田谷区立東大原小学校）
 - 1 A 6 Web 教材開発における学びの仕掛けとは何か？
 鈴木京子（日本大学工学部）
 - 1 A 7 普通教室におけるデジタルコンテンツ利用環境の現状分析
 木村裕文（ラティオ・インターナショナル），I T E M（I T 利用教材標準化委員会）

（一般研究） 教育情報の分析・評価 18日（水） 10：00～12：00 B会場
 座長 藤崎雅行（共立女子大学総合文化研究所） 宮地功（岡山理科大学）

-
- 1 B 1 アントレプレナー教育における資質・能力の評価方法の一考察
 藤崎雅行（共立女子大学総合文化研究所），城一夫（共立女子短期大学），
 林田廣伸（共立女子大学）
 - 1 B 2 大学における授業評価と授業改善の連携 - コンジョイント分析を活用して -
 星野敦子，北原俊一，安達一寿，綿井雅康（十文字学園女子大学），
 牟田博光（東京工業大学院）
 - 1 B 3 強制連結法を利用した知識の定量化に関する研究（2）
 赤松辰彦（近畿大学），林徳治（山口大学）
 - 1 B 4 関東周辺既存大学の分析
 小野裕次郎（十文字学園女子大学），石川慎也，名児耶厚，市野学（東京電機大学）
 - 1 B 5 VisualBasic によるアニメーション作成の相互評価
 宮地功（岡山理科大学）
 - 1 B 6 メディアを活用した児童・生徒の主体的学習態度の変容を図る授業の実証研究
 井上史子（山口市立川西中学校），林徳治（山口大学教育学部）
 - 1 B 7 植物観察学習の楽しさについて
 坂本徳弥（横浜市立南山田小学校）
 - 1 B 8 児童と現職教員の情報活用能力に関する研究(3)
 児童の学校 Web ページ上での発信経験が情報活用能力に及ぼす影響
 川端裕志（滋賀県大津市立田上小学校），宮田仁（滋賀大学）

(一般研究) 電子コミュニケーション

18日(水) 10:00~12:00 C会場

座長 柏木 肇(秦野市立南小学校) 三宅茜巳(岐阜女子大学)

- 1C1 教育情報コラボレーションの理論と実践
柏木 肇(秦野市立南小学校)
- 1C2 外国語学習における学習者の意識調査と語学学習へのIT導入による学習支援の可能性について
山田信雄(岐阜県各務原市立鷺沼第一小学校)
- 1C3 中学校英語科教育と国際交流学習に関する研究
- グローバルコミュニケーション能力の育成に向けて -
高木浩志(宝塚市立高司中学校), 田中博之(大阪教育大学)
- 1C4 テレビ会議システムを用いた高大連携授業
三宅茜巳, 谷口知司, 橋詰恵雄, 山中マーガレット(岐阜女子大学),
北川邦夫(岐阜県立各務原高等学校)
- 1C5 ICTの教育利用に関する調査研究 - 中国における学校視察および意識調査を通して -
林徳治(山口大学), 黒川マキ(大阪学院大), 井上史子(川西中学校),
原田肇(男山中学校)

(一般研究) 教育システム

18日(水) 10:00~12:00 D会場

座長 白川雄三(大阪学院大学) 渡辺昌介(武蔵野情報学園大学)

- 1D1 携帯情報端末を活用した小学生向けモバイル学習環境の構築と実践
石塚文晴(静岡大学工学部), 堀田龍也(静岡県大学情報学部),
高田浩二(榊海の中道海洋生態科学館), 小川雅弘(浜松市立都田小学校),
石原一彦(大津市立瀬田小学校), 森谷和浩(アルプスシステムインテグレーション),
森清子(株旺文社デジタルインステュート)
- 1D2 コピキタス・ネットワーク社会における携帯電話の教育的活用
伊藤大河(JR東海情報システム株式会社システム開発部),
山本利一(埼玉大学教育学部)
- 1D3 次世代型 e-Learning システムの開発構想に関する研究
白川雄三(大阪学院大学)
- 1D4 学習階層理論に基づいたPID制御を応用したWBTシステムの構築
村瀬孝宏(中京短期大学), 磯本征雄(岐阜聖徳学園大学)
- 1D5 公用書類や学生関連データの保存と検索
渡辺昌介(武蔵野情報学園大学), 横村宏司(亜細亜大学学術情報部),
市川隆幸(亜細亜大学学生センター教学課)
- 1D6 インターネットを使った学習ソフト提供環境の構築
荒 義明(藤沢市立善行小学校)

(課題研究4) 教育情報の流通

19日(木) 10:00~12:00 A会場

コーディネータ 村瀬康一郎(岐阜大学)

- 2A1 海外の学習オブジェクト共有・再利用コンソーシアムにおけるメタデータ統制語彙の総合比較
三輪眞木子(メディア教育開発センター)
- 2A2 教育情報データベースを利用した情報流通に関する研究
末松美樹(岐阜大学教育学部附属小学校),
加藤直樹, 村瀬康一郎, 興戸律子(岐阜大学総合情報メディアセンター)
- 2A3 学校電子図書室の構築
村上佳久(筑波技術短期大学障害者高等教育センター)

- 2 A 4 NPOと教科書発行会社の連携による教育情報の流通
原久太郎(NPO法人地域学習センターゆーらっぷ), ITEM(IT活用教材標準化委員会)
- 2 A 5 大学における教育研究情報の蓄積と利用~データベース設計の基本方針と項目構成~
村瀬康一郎, 興戸律子, 加藤直樹, 益子典文, 梶原正也(岐阜大学)

(課題研究1・2) 学習環境の開発・e-Learning 19日(木) 10:00~12:00 B会場
コーディネータ 加藤直樹(岐阜大学) 安達一寿(十文字学園女子大学)

- 2 B 1 コミュニケーション機能を強化した遠隔教育システムの開発と運用
谷口知司, 橋詰恵雄(岐阜女子大学)
- 2 B 2 AIMS-Gifuを利用した授業方法の開発と評価~オン・キャンパスにおけるe-Learning~
加藤直樹, 村瀬康一郎, 益子典文, 松原正也, 伊藤宗親, 興戸律子(岐阜大学総合情報メディアセンター)
- 2 B 3 XMLを用いたWeb教材システムの評価と考察
武岡さおり, 小山幸治(名古屋女子大学), 足達義則, 尾崎正弘(中部大学)
- 2 B 4 学習者の理解度を考慮した深みのあるWeb教材の開発について
季鵬凱(中部文学大学院経営情報学専攻), 小山幸治, 武岡さおり(名古屋女子大学), 足達義則, 尾崎正弘(中部大学)
- 2 B 5 協調活動を指向したe-learning支援システムの機能要件
安達一寿, 北原俊一, 新行内康慈, 中尾茂子, 綿井雅康, 井口磯夫(十文字学園女子大学), 橋本健志(合資会社風夢)
- 2 B 6 協調学習ツールを実装するe-learning支援システムの設計と開発
北原俊一, 安達一寿, 新行内康慈, 中尾茂子, 綿井雅康, 井口磯夫(十文字学園女子大学), 橋本健志(合資会社風夢)

(課題研究3) 教師教育と生涯教育 19日(木) 10:00~12:00 C会場
コーディネータ 沖裕貴(山口大学)

- 2 C 1 教員研修の総合化
服部晃(岐阜女子大学), 高口努(岐阜県教育委員会), 小山徹(総合教育センター), 石川英志(岐阜大学), 益子典文(岐阜大学総合情報メディアセンター)
- 2 C 2 中学校における自主性尺度項目開発の試み
井上史子(山口市立川西中学校), 沖裕貴(山口大学大学教育センター), 林徳治(山口大学教育学部附属教育実践総合センター)
- 2 C 3 大学における卒業時満足度尺度項目の開発
沖裕貴(山口大学)
- 2 C 4 生涯学習における情報活用能力の習得に対するシニアの知的欲求を満たす研修講座の在り方
安藤久夫(岐阜女子大学), 久世均(多治見工業高校)
- 2 C 5 岐阜県における生涯学習施設の建設経緯と現状
久世均(岐阜県立多治見工業高校), 安藤久夫(岐阜女子大学), 土本潤(元岐阜県図書館)
- 2 C 6 強制連結法を利用した教職員等中央研修における情報教育の実践
林徳治(山口大学), 沖裕貴(山口大学), 井上史子(川西中学校), 黒川マキ(大阪学院大学)

(課題研究6) 教育と著作権 19日(木) 10:00~12:00 D会場
コーディネータ 坂井知志(常磐大学)

- 2 D 1 テレビ番組の教育利用と著作権問題について - 教師・指導主事等の実態と意識調査から -
横山隆光(岐阜県教育委員会), 有園格(星槎大学), 斎藤陽子(瑞浪市立瑞浪小学校)

- 2 D 2 高等学校における知的財産権の保護促進をめざした授業実践
神月紀輔(滋賀大学教育学部附属教育実践総合センター), 宮田仁(滋賀大学),
上林まどか(近江兄弟社高等学校)
- 2 D 3 大学生を対象とした実践的態度の育成を目指した情報モラル教育の研究
林泰子(滋賀大学大学院), 宮田仁(滋賀大学)
- 2 D 4 小学校における早期の情報モラル教育の可能性について
- 日常場面のモラルから情報機器活用場面のモラルへの学習の転移の適時性 -
西俊之(埼玉県庄和町立桜川小学校), 本郷健(川村学園女子大学)
- 2 D 5 学校教育における情報モラル
渡辺律子((財)ハイパーネットワーク社会研究所)

(一般研究) 教材コンテンツ

19日(木) 13:00~14:30 A会場

座長 堀口秀嗣(常磐大学国際学部) 本郷健(川村学園女子大学)

-
- 3 A 1 P D A 対応動画コンテンツ「琵琶湖プランクトンの世界」の開発と試行
宮田仁(滋賀大学), 石丸雄一郎(滋賀大学)
- 3 A 2 教育研究資料のデジタルアーカイブ化について
~ デジタル博物館のための木田宏教育資料の情報化 ~
谷里佐, 後藤忠彦, 菊川健, 浅野弘光(岐阜女子大学),
興戸律子, 加藤直樹(岐阜大学), 村瀬康一郎(岐阜大学)
- 3 A 3 バーコードを用いた印刷物と電子メディアの有効利用の検討
林知代, 後藤忠彦(岐阜女子大学), 岩田諦慧(輪之内町教育委員会),
浅野弘光(岐阜女子大学), 新田直(坂内小学校)
- 3 A 4 非集中モデリングツールによるモデル化とシミュレーションの教材開発
本郷健(川村学園女子大学)
- 3 A 5 教育情報共有化促進モデル事業と IT 授業実践ナビ
堀口秀嗣(常磐大学国際学部), 赤堀侃司(東京工業大学), 影戸誠(日本福祉大学),
秋本弘章(獨協大学), 堀田龍也(静岡大学), 野中陽一(和歌山大学)
- 3 A 6 オンラインデータベースを利用した学校ホームページ群の客観的評価 その3
豊福晋平(国際大学グローバル・コミュニケーション・センター)

(一般研究) 情報教育一般

19日(木) 13:00~14:30 B会場

座長 市川隆司(大阪信愛女学院短期大学) 角田真二(十文字学園女子大学)

-
- 3 B 1 大阪府下私立高校における教育情報化に関する調査研究
市川隆司, 長尾尚(大阪信愛女学院短期大学), 飯田英佳(四條畷学園高等学校),
小林直行(清教学園高等学校)
- 3 B 2 高等学校における情報教育に関する実証的な研究
地域・校種の異なる学校による, 広域的な実態調査から情報教育を考察する
高橋正行(埼玉県立行田工業高等学校), 岩泉庄一(岩手県立大野高等学校),
下山淳(岩手県立北青雲高等学校), 深瀬啓司(埼玉県立所沢商業高等学校),
長友幸子(埼玉県立浦和商業高等学校), 森下博正(静岡県立浜松城北工業高等),
神長京子(芝浦工業大学中学高等学校), 磯崎善則(日本学園高等学校)
- 3 B 3 自己責任が問われる時代に必要な力の育成の試み
奥野雅和(京都文教高等学校)
- 3 B 4 コンピュータの初期学習における容易性の考察
角田真二(十文字学園女子大学)
- 3 B 5 IT の実践活用教育の有効性と今後の課題 ~ インターネットで広がる新しい学びの場 ~
増澤文徳(東京成徳大学高等学校), 塚田慶一(東京成徳短期大学)

(一般研究) 特別支援教育

19日(木) 13:00~14:30 C会場

座長 金森克浩(東京都立光明養護学校) 太田容次(滋賀大学教育学部附属養護学校)

-
- 3C1 情報機器を活用した入院中の子どもたちへの実践と今後の病弱教育における特別支援教育のあり方についての一考察
小川幸宣(滋賀県立守山養護学校),末松尚子(滋賀県立守山養護学校),
西村匡司(滋賀県守山養護学校)
- 3C2 特別支援教育における機関間連携のための地域イントラネットの活用の成果と課題
西谷淳(甲西町立三雲小学校),藤井茂樹(甲西町発達支援室),
小西喜朗(甲西町学校教育課),寺嶋尚子(甲西町発達支援センター),
白井文絵(甲西町発達支援センター),鈴木麻子(甲西町発達支援センター),
鈴木美智子(甲西町発達支援センター)
- 3C3 特別支援教育における個別教育支援計画を用いた教育実践と学校間連携システムの構想
太田容次,石部和人,木村政秀,辻野賢治,山田朋子(国立大学法人滋賀大学教育学部附属養護学校),宮田 仁(滋賀大学)
- 3C4 特別支援教育における在宅病気療養児への携帯型テレビ電話等を活用した遠隔共同学習に関する研究
金森克浩(東京都立光明養護学校),小林巖(東京学芸大学教育実践研究支援センター),
加藤仁道(東京都立武蔵台養護学校)
- 3C5 特別支援教育で電子掲示板を利用した場合のコミュニケーション活性化に関する一考察
石部和人(滋賀大学教育学部附属養護学校),太田容次(滋賀大学教育学部附属養護学校),
木村政秀(法人滋賀大学教育学部附属養護学),宮田仁(滋賀大学)

(課題研究5) 教科「情報」のあるべき姿

19日(木) 13:00~14:30 D会場

コーディネータ 中村祐治(横浜国立大学)

-
- 3D1 高等学校入学生の情報活用能力の変容
佐野和夫(横浜市立東高等学校),中村祐治(横浜国立大学)
- 3D2 生徒たちの論理的な問題解決能力は上がったか?
- 判断推理問題の試験導入に対する結果と考察 -
松本宗久(大阪学院大学高等学校)
- 3D3 高大連携の体系的情報教育と教科「情報」の方向性
本村猛能(川村学園女子大学),内桶誠二(流通経済大学),
工藤雄司(筑波大学附属坂戸高等学校)
- 3D4 体系的な情報教育に向けた日本・韓国のカリキュラム比較研究
内桶誠二(流通経済大学流通情報学部),本村猛能(川村学園女子大学),
CHOON-SIG LEE(KICE:韓国カリキュラム評価研究所),角和博(佐賀大学),
森山潤(兵庫教育大学),鬼藤明仁(兵庫教育大学大学院)
- 3D5 観点別学習による評価 「指導と評価の一体化」から
大河原広行(神奈川県立新磯高等学校)

(一般研究) プレゼンテーション

19日(木) 14:45~16:15 A会場

座長 片山章郎(順正短期大学) 磯崎喜則(日本学園高等学校)

-
- 4A1 強制連結法による大学生のプレゼンテーション技術強化に関する授業実践
黒川マキ(大阪学院大学),林徳治(山口大学教育学部)
- 4A2 デジタルプレゼンテーション能力育成のための実践報告
片山章郎(順正短期大学)
- 4A3 プレゼンテーションの改善を図る発想能力の育成に関する考察
谷口由美子(京都市立芸術大学美術学部)

- 4 A 4 性格タイプに基づくプレゼンテーション・スキル習得に関する研究
- 性格分類による指導法の提案 -
北村光一(滋賀県立彦根工業高校), 東野勝治(平安女学院大学)
- 4 A 5 高校情報教育でインターネットを利用した交流学习の可能性と実践についての考察
磯崎喜則(日本学園高等学校), 増澤文徳(東京成徳大学高等学校),
大村政和(東京成徳大学高等学校), 更科幸一(自由学園高等学校),
岩泉庄一(岩手県立大野高等学校)
- 4 A 6 小学校高学年におけるプレゼンテーションの指導法の工夫
中島武史(杉並区立桃井第二小学校), 沓澤広明(杉並区立桃井第二小学校)

(一般研究) 情報教育一般

19日(木) 14:45~16:15 B会場

座長 野末俊比古(青山学院大学) 川田博美(名古屋女子大学短期大学部)

-
- 4 B 1 問題解決学習カリキュラムの設計をめぐる課題: ガイドラインの提案
野末俊比古, 小田光宏(青山学院大学)
- 4 B 2 短期大学における情報教育のあり方に関する研究
大森雅人(湊川短期大学幼児教育保育学科), 正司和彦(兵庫教育大学)
- 4 B 3 短期大学生によるCATV番組の作成について
鎌本京子(樟蔭東女子短期大学), 白川雄三(大阪学院大学)
- 4 B 4 情報系短大のカリキュラムに関する戦略策定の試み
森屋裕治, 川田博美(名古屋女子大学短期大学部)
- 4 B 5 そのすべてを学生の手により実施する教科『パソコン・インストラクター実習』の試み
川田博美, 武岡さおり, 森屋裕治(名古屋女子大学短期大学部)

(一般研究) 特別支援教育

19日(木) 14:45~16:15 C会場

座長 高市幸造(愛媛大学教育学部附属養護学校) 小栗信(和歌山大学教育学部附属養護学校)

-
- 4 C 1 特別支援教育における電子掲示板を利用した遠隔共同学習のためのTT (TeamTeaching) に関する考察
高市幸造(愛媛大学教育学部附属養護学校), 太田容次(滋賀大学教育学部附属養護学校),
小塚雄一郎(石川県立七尾養護学校), 荒井裕之(山形大学教育学部附属養護学校),
中野美佳(香川県立香川中部養護学校)
- 4 C 2 特別な教育ニーズのある学習者の生活に密着した情報発信と情報活用能力育成に関する一考察
中野美佳(香川県立香川中部養護学校), 藤田美佐緒(香川県立香川中部養護学校)
- 4 C 3 特別支援教育における電子掲示板を利用した地域学習授業プラン
加藤仁道(東京都立武蔵台養護学校)
- 4 C 4 特別支援教育における電子掲示板を利用した学校間交流の取り組みと地域での展開に関する一考察
島田勝浩(国立大学法人金沢大学教育学部附属養護学校),
小塚雄一郎(石川県立七尾養護学校)
- 4 C 5 特別支援教育における電子掲示板を利用した情報リテラシー育成とネットワークを利用した卒業生へのアフターケア - の試行
小栗信(国立大学法人和歌山大学教育学部附属養護学校),
神谷宏枝(国立大学法人和歌山大学教育学部附属養護学校)

問い合わせ先

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

十文字学園女子大学 社会情報学部 井口研究室内

日本教育情報学会第20回年会実行委員会

Tel 048-477-0555 (代表) Fax 048-478-9367

メールによる問合せ：井口磯夫 (i-iguchi@jumonji-u.ac.jp)

国立オリンピック記念青少年総合センターまでの交通案内

<http://www.nyc.go.jp/users/d7.html>

東京駅から JR中央線 約14分 新宿駅のりかえ 小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車

羽田空港から 東京モノレール 約21分 浜松町駅のりかえ JR山手線(外回り) 約23分 新宿駅のりかえ 小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車

成田空港から JR総武線 成田エクスプレス 約80~90分 新宿駅のりかえ 小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車

小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分

地下鉄千代田線 代々木公園駅下車(代々木公園方面出口) 徒歩約10分

京王バス 新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車

渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車

国立オリンピック記念青少年総合センター内配置図



センター棟案内図



